沖縄県議会議員（自由民主党）
中川 京貴 キヨキ

議会報告
事務所〒904-0204 嘉手納町水釜6丁目10番7号
TEL098-956-9731
E-mail:info@k-nakagawa.jp
ホームページをご覧下さい。
http://k-nakagawa.jp

自民党会派
vol.12
沖縄県議会
〒900-0021
那覇市泉崎1-2-3
沖縄県議会棟603号
TEL.098-866-2754
FAX.098-866-2773

ー感謝の気持ちを行動で示しますー

平成26年2月定例会 代表質問
平成26年2月定例会 代表質問
平成24年7月定例会 一般質問
平成25年7月定例会 一般質問
平成26年2月定例会 自由民主党代表質問

早春の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。

皆様には日ごろから大変お世話になり、衷心より感謝申し上げます。

県議会議員二期目に当選させて頂き、土木環境委員会委員長・米軍基地関係特別委員会で活動させて頂いております。

この度、中川京貴の議会内外の活動状況「第12号議会活動ニュース」を作成致しましたので、ご報告申し上げます。ご一読いただければ幸いでございます。

沖縄県の2014年度の当初予算が七千二百三十九億二千二百万円計上されました。一括交付金を活用し教育・医療・福祉・健康長寿や産業振興に予算を重点的に配分しています。

- 土木建築部においては、約千九十四億円、社会基盤整備の一つとしてのモノレール延伸、「現終着駅の首里から沖縄自動車道西原入口まで（4・1キロ）を新設する計画。」（総建設費は三百五十億円）2019年春の開業を目指す（2014年度は約百二十一億円）
- 沖縄総合事務局が事業者である那覇空港滑走路整備事業は、県の負担分として約十七億六千百万円。
- 県運動公園プロサッカースタジアム事業は約21億円を計上しJ2リーグ公式戦が開催できる規格へ改修。
- 空手道会館（仮称）建設費は約十四億円。（豊見城市）
- MICE地 選定に約三千百万円。
- 長寿県復活健康づくり事業に約一億六千六百万円。
- 子育て支援事業は待機児童解消に向けた市町村の取り組みを支援する新規の基金事業に約三億三千万円。保育士の産休に伴う代替配置を支援する費用に約三千五百万円措置。

継続事業では、保育所整備や保育士の処遇改善などを通し、子育てを支援する安心こども基金事業に前年比二十八億七千万円減の約三十八億八千万円。

認可外保育施設の認可を促進し保育の質の向上を支援、待機児童対策特別事業には約十三億三千万円など県政初めて七千億円を突破した2014年度予算です。

21世紀ビジョンを推進し自由度の高い一括交付金を活用することで、資源も産業も厳しく自主財源乏しい状況の中で、島嶼県による不利性を克服、経済産業を活性化させ一千万観光立県（観光収入一兆円の実現）をめざし、日本の南の拠点として国際ハブ空港と国際物流拠点を実現させ、県民が主役・県民と共に語り・県民と共に創っていく政治、感謝の気持ちを行動で示し、結果が残せる政治を理念に、県経済の発展・教育・医療・福祉の向上誠心誠意全力で取り組んで参ります。

どうぞこれからも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い致します。

「基地の街」違いに驚き

○…「米軍基地と共存共栄です」と言われ驚いた」と語る中川京貴県議（自民、中頭郡区）。県議会軍特委として三沢基地（青森）と岩国基地（山口）の地元自治体と意見交換。

夜間訓練時は事前連絡があることや地元と軍との定期的な意見交換など「騒音防止協定違反が日常茶飯事」の嘉手納基地との違いにがくぜん。「戦争で造られた沖縄の基地と本土の基地とでは成り立ちも被害もまったく違う」と基地縮小と防音工事の適用拡大など、政治の役割の大きさ・必要性をあらためて感じていた。

H25.8.12　沖縄タイムス

医療費無料化へ前進

○…中学3年までの医療費無料化を訴えてきた中川京貴県議（自民、中頭郡区）。各市町村の条例改正で、12月にも入院費の全県無料化めどが立ち「嘉手納町議時代から8年間、取り上げてきた成果が出た」と喜んでいる。加えて「患者への負担制度を導入すれば窓口での一時負担がなくなり、事実上の現物給付になる」と提言する。地元の嘉手納町では通院費の無料化も実現しており「私の選挙公約は入通院費の全県無料化。まだまだ議会で働き掛けるよ」とモチベーションを高めていた。

H24.10.3　沖縄タイムス

トップ当選にリベンジ

○…「以前からぜひともやりたい仕事だった」。県議会で土木環境委員長に就任したことを喜ぶ中川京貴県議（自民、中頭郡区）。「経済自立、1千万人観光実現のため、那覇空港第2滑走路、港湾整備など山積する課題に取り組みたい」と意気込みが口をつく。委員長はくじ引きで決まったが、くじ順決め、本番の2回とも1番を引き当て「2回連続トップ当選だから縁起がいい」。県議選のポスター掲示順は選挙区で最下位だっただけに、「委員会でリベンジできた」と大喜びしていた。

H24.6.28　沖縄タイムス

刺激的提案の理由

記者席

○…「任期中に中学3年生までの入院費にとどまらず、通院費の無料化も実現したい」と話す中川京貴県議（自民）。県議選を通して「仕事がなかったり、給与が低いため、子どもを病院に連れていけない若者がいる」と実感したという。だが、行政はない袖は振れない。そこで「議会改革として議員定数を削減して財源を確保すればよい」と開会前から刺激的な提案も。定数が削減されても、中頭郡区で引き続きトップ当選を果たせる自信の表れーと冷やかされそう。

H24.6.22　琉球新報